



大原中学校だより

【大原中学校の教育目標】
「目的意識をもって自ら学び、心豊かに楽しく生きる生徒の育成」



令和2年2月21日
第28号
校長 柴田美由紀



2年生修学旅行スローガン 『道標 ～歴史を学び、友を知り、 これからの目標をかかげよう～』

2年生は2月5日(水)～7日(金)の日程で、京都・奈良・大阪への修学旅行に行ってきました。「旅行」は「**三連の旅**」とも言われ、**事前の旅、本番の旅、事後の旅**からなり、極めて目的的性格があります。事前の旅とは、憧れと期待を持つこと、本番の旅とは、

旅に専念すること、事後の旅とは、追憶と生活の活性化のことです。この旅行を通して、学習を深め、よりよい人間関係を築くこともできました。

1日目は、新幹線で新大塚に到着後、まず奈良の薬師寺に行きました。薬師寺は680年に天武天皇により発願された「法相宗」の大本山で、710年の平城遷都に伴い現在地に移された歴史ある寺です。薬師寺の国宝である「薬師三尊像」や「東塔」などを見学する前に、僧侶の方から薬師寺にまつわる様々なお話を楽しく聴かせていただきました。「全てのことは周りの方とのご縁により存在するので、日々感謝の心を持って、心身を健康に生活してほしい」と語られました。次に向かったのは天平文化の象徴といってもよい東大寺です。奈良時代の743年に聖武天皇の発願により創建されました。「盧舎那仏」という大仏が安置されている世界最大の木造建築である大仏殿の迫りに圧倒され、当時の技術力の高さに大いに感銘を受けました。

2日目は、京都市内の班別研修でした。班ごとに渡された携帯電話をもって、バスや電車を乗り継いで見学地へ向かうといった研修でした。京都の歴史や文化に触れながらの学習は、子どもたちに今と古の時をつなぎ、同時に、班の仲間との絆をつなぐ貴重な体験となりました。また、夜は「舞妓さんふれあい体験」をしました。舞妓さんの舞に陶醉した子どもたちは、舞妓さんの舞の稽古が一日何時間にも及ぶことや携帯・スマホは持てないことなど自分たちの生活とはかけ離れた話に聞き入り、楽しい交流のひとつを過ごすことができました。

3日目は、お世話になったホテルの方々に見送られながら広島平和公園に向かいました。広島平和公園では、原爆の子の像の前で平和集会をしました。「平和の誓い」を読み上げて千羽鶴を捧げ、全員で黙とうしました。その後、戦争で亡くなった多くの人々への鎮魂と平和を守っていく決意を込めて、「大地讃頌」を合唱しました。暖かな日差しの中、子どもたちの声が響き渡り、一般の観光客の方々もしばし足を止めて聞き入っておられました。生徒たちの思いは、何十万もの犠牲者の方たちにかきと届いたはずですよ。

待ち望んでいた学校行事も、もはや過去の出来事になりました。お土産と共に楽しい思い出をたくさん持ち帰ってきてくれたようで嬉しく思います。しかし、「**修学**」とある以上、学習の機会として今一度捉え直してみたいのです。**そこで何に出会い、何を学んだのか、初めて触れるものに対する記憶は鮮やかです。同時に、「非日常」の中で得られた知識や体験は、貴重なものとして皆さんの中にいつまでも残っていくことになるでしょう。**この修学旅行での学びを大きな糧として、「**事後の旅の充実**」、つまり残り少ない2年生の生活を充実させ、来年度からは率先垂範する最上級生としての自覚と責任、行動に大いに期待しています。

令和元年度 大原中学校 学校関係者評価を受けて (評価結果と改善の具体的方策)

学校の自己評価	評価結果 (学校運営教員会議)	改善の具体的方策 (学校)
<p>難かな学力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〇難かな学力をつけていくように先生方が日常的に難かな学習指導がなされている。 〇家庭学習時間がいや少ないのが気になるが先生方の研究と実践が成果に結びついている。 〇生徒へのノート指導やワークシートの工夫や情報ツール等の更なる充実を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇思考ツールを用いて自己内対話を促し、自分の考えを深め、新たな学びにつなげていく思考力、判断力、表現力、学習力向上に向けた取組を全職員で実践していく。 〇こつこつ勉強とプロジェクトのプロジェクトの見直しを促し、より深いプロジェクトの推進をしていく。 〇家庭学習の定着と学習・復習の強化に向けて、課題等の質的向上を図る。 〇力強く未来を開く力をキャリア教育で育む。
<p>難かな心の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〇生徒がお互いのことを思いやる豊かな心を育てる働きかけがなされている。 〇生徒が落ち込んでおり、お互いの心の結びつきができていない。 〇いじめアンケート、教育相談等にこれまで通り丁寧に取り組み、いじめの早期発見、早期対応をお願いしたい。 〇今後も専門家と連携し、計画的な規範教育の取組をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇道徳的価値の実現する内部的資質を育てる道徳の時間の充実と体験を生かした指導の工夫に努める。 〇日頃より、積極的な生徒指導に努め、いじめの未然防止・早期対応に努める。 〇規範意識教育の継続と充実を図っていく。SNSの活用等に対する保護者と連携し、研修会の充実を図る。 〇生徒会活動を活性化させ、自問自答や校内展示物等の環境美化を進める。
<p>難かな体の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〇体育系の部活動に所属していない生徒の運動量を保健体育の授業でカバーしてもらいたい。 〇給食時間での食育がバランスの良い生活への意識を高めている。 〇陸上の取組等、先生方が生徒を励ましながら指導している成果が出ています。 〇今後も自転車等の乗り方や様々な危険回避の方策などへの指導をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇体力向上プランを全職員で共通認識し、取組を充実させる。授業でのサーキットトレーニングやコーディネーショントレーニングは継続し、多様な各活動で足並みをそろえ、体幹トレーニングやストレッチングを今後実施していく。 〇安全管理については、水害発生時のマニュアルの見直しを促し、危険回避のための意識を高め、技能を身につけることができるよう取組を進める。 〇自転車マナーやルールについて常時指導を行う。
<p>特別支援教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〇小学校、高等学校、特別支援学校との円滑な連携を今後も図りたい。 〇道徳指導教室との連携は評価が高い、特別支援学校においても教職員間での共有をこれまで以上に図ってほしい。 〇毎年3月に特別支援学校の教材教員が十分にそろっているかの確認を促したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇特別支援教育コーディネーターを窓口と保護者との連携を図る。 〇特別支援学校の指導内容について、全教職員の共通理解を図る。 〇校外の関係機関との連携の強化と小学校や高校、特別支援学校との連携の充実を図る。
<p>高い専門性豊かな人間性を備えた教職員の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〇先生方が日頃から熱心に取り組んでいる姿勢が落ちない風、学校の雰囲気を作っている。 〇今後も研修を重ね、先生方の専門性を高めてもらいたい。 〇日頃より、「大原白鷲清輝」の指導が、生徒の美化意識向上に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇今後も学校運営への積極的な参画を強化していく。中堅教員がリーダーシップを取り、若手の優位性を生かした学校運営を推進する。 〇校内研修の更なる充実や生徒の授業評価結果を生かした研修に努め、教師の着実な指導力向上を図る。 〇今後も「大原白鷲清輝」の徹底と充実を図り、生徒会専門委員会活動を中心に環境美化に取り組む。
<p>地域とともにある学校づくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〇学校によりや学年により等、学校からの情報公開・発信がよくなされている。 〇大原中校区は、学校に協力し、積極的に風土があるので、特色のある学校づくりを推進していきたい。今後も地域と共にある学校を目指していきたい。 〇中学生の積極的な夏祭りの参加をお願いしたいが、部活動や交歓活動で取り組んでいる現状がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇学校によりや学年により、学校ホームページの定期的な発行・更新と丁寧な家庭訪問等を継続し、保護者、地域に情報発信する。 〇校区青少年育成委員会や人権のまちづくりの取組は、内容の見直しを図るとともに学校・家庭・地域が連携し推進していく。 〇地域活動や「カップアース・クリーンアップ大原」の取組など、ボランティア活動への積極的な呼びかけを行う。
<p>人権・同和教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 〇土曜授業やリバーフェスタでの地域・保護者への発信ができています。今後も地域の大人への意識をさらに高めてほしい。 〇今後も継続的・継続的な人権・同和教育の推進に取り組んでほしい。 〇学校教育全体において人権・同和教育を基盤とした推進がなされている。 〇教育活動のための署名活動等が実を結んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇土曜授業でリバーフェスタや公開授業を実施し、地域、保護者との協力や保護者会、地域懇談会、学年通信等で丁寧な発信を行う。 〇今後も人権問題学習の充実と豊かな人権感覚に根ざした指導を丁寧に継続していく。 〇今後も教員自身の人権感覚を高めるために、校内研修を深めるとともに、各種研修会や学習会に積極的に参加する。